

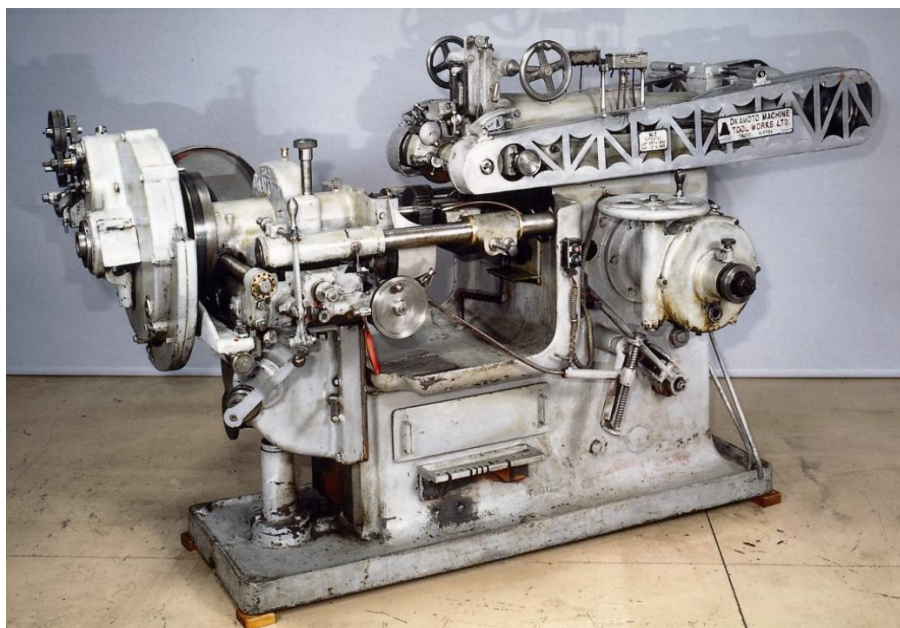
## 日本工業大学・工業技術博物館所蔵

## 平歯車研削盤 ASG-2 形 日本機械学会「機械遺産」第 106 号認定

株式会社岡本工作機械製作所

日本工業大学・工業技術博物館所蔵の岡本専用機械製作所(現:株式会社岡本工作機械製作所)の「平歯車研削盤 ASG-2 形」が 2021 年度日本機械学会発表の「機械遺産」として認定されました。

【日本機械学会ホームページ】：[https://www.jsme.or.jp/kikaiisan/heritage\\_106\\_jp.html](https://www.jsme.or.jp/kikaiisan/heritage_106_jp.html)

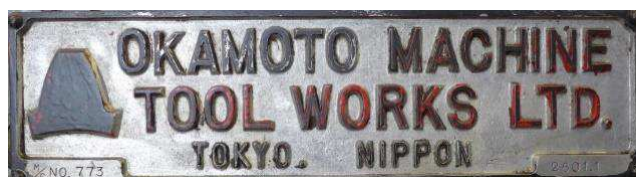


本機は、創業者岡本覚三郎が呉海軍工廠からの注文で歯車研削盤の設計に着手し、度重なる試行錯誤を経て1930(昭和5)年に国産初の「平歯車研削盤 ASG-2 形」を完成。終戦の1945(昭和20)年までに13台製造されたもののひとつです。

研削できる歯車の最大ピッチ円直径は500mm、歯幅は最大200mm、モジュールは最大8である。歯車を交換することにより、歯数などが異なる歯車の加工に対応できる独創的な機構を有しています。

研削できるピッチ円直径(最大)	500mm
研削できる歯幅(最大)	200mm
センタ間距離	200mm
といし車の直径	205mm
機械サイズ(間口×奥行×高さ)	1,700×3,000×1,800mm
機械質量	4,000kg

また、本機の銘板表記における製造年月日には、「2601 年 1 月」とあり、製造当時の時代背景を伺うことができます。



製造年月日:2601 年 1 月

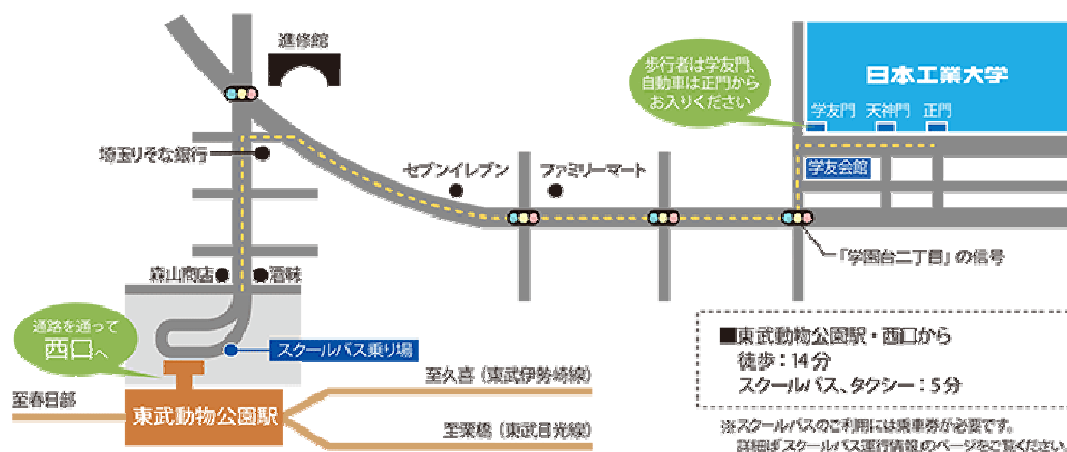
### 日本工業大学・工業技術博物館・清水館長からのコメント

この度は、弊博物館で所蔵させて頂いております、御社が昭和 16 年に製造された平歯車研削盤 ASG-2 形が、日本機械学会「機械遺産」として認定され、大変嬉しく、このような名機を所蔵させて頂いていることに感謝申し上げますとともに、改めて誇りに思っている次第です。

弊博物館では、大小合わせて 400 点以上の機械・機器類を所蔵しており、そのうちの約 270 点は、歴史的価値の高い工作機械であり、機種別、年代順に展示しております。また、それらの工作機械の 70%を、動態保存しております。さらに昔の町工場も復元し、その稼働状態も見ることができ、当時の町工場の物作り環境も体感できるなど、多くの特徴をもった、世界的にも希な博物館です。是非、皆様のご来館をお待ち申し上げます。

### 【日本工業大学・工業技術博物館のご案内】

- ホームページ : <https://www.nit.ac.jp/campus/center/museum>
- 入館料 : 無料
- 開館時間 : 午前 9 時 30 分 ~ 午後 4 時 30 分(入館は午後 4 時まで)
- 休館日 : 日曜・祝日、8月中旬~下旬、年末年始
- お問い合わせ先 : 〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 日本工業大学内  
工業技術博物館 TEL (0480) 33-7545 ・ FAX (0480) 33-7570  
※新型コロナウイルスの感染状況により、開館時間に変更になる場合があります。  
詳しくは工業技術博物館お問い合わせ先もしくはホームページをご確認ください。



掲載されているプレスリリースの内容は、報道関係者へ発表した情報の集約です。

お問い合わせ先 株式会社岡本工作機械製作所 技術開発部商品企画部  
TEL:027-385-5155 [www.okamoto.co.jp](http://www.okamoto.co.jp)